

図書だより

福井南高等学校 図書室
平成22年3月発行 第11号

～ 図書室からのお知らせ～

①開架予定について

春休みまでの開架予定について、図書室入口に掲示してあります。特に図書委員は当番日を確認しておきましょう。

②朝学習について

自主学習の場として月～金曜日の8:45～9:30に図書室を開架しています。

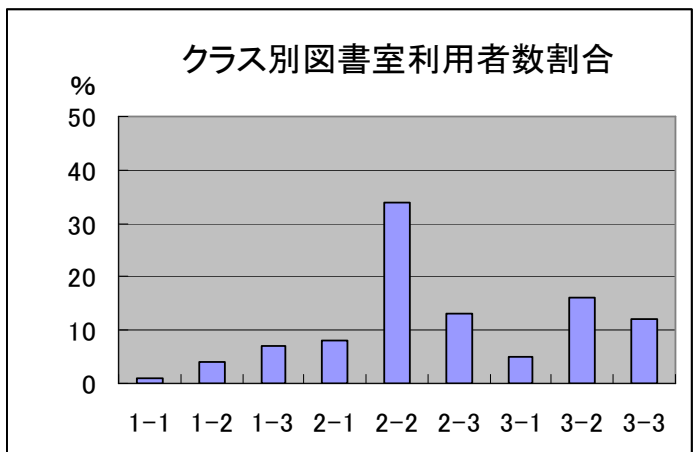
③「夢小説」募集について

文芸部からの企画として「夢小説（自分を主人公にしたり、既存の作品にオリジナルキャラクターを登場させたもの）」を随時募集します。形式は自由です。寄せられた作品は図書室で読めるように展示します。興味のある人は文芸部（今年度の活動日である毎週火・木曜日放課後）まで。

今年度の利用状況

今年度、図書室の利用者数が最も多かったクラスは2年2組でした。教室が図書室に一番近いということから、来室しやすい環境にあったようです。逆に、図書室からの距離が遠いクラスほど、利用者数が少ないこともわかります。

来年度は開架日を増やす予定です。皆さんどんどん来室してくださいね。



～ 今月の特集 ～

人間というのはどうしてこうもつまらないことに差異を見出して、優越感を覚えようとするのだ。

伊坂幸太郎

今月は話題の映画「ゴールデンランバー」の著者、伊坂幸太郎氏を紹介します。

□ 略歴と主な作品 □

1971 千葉県松戸市に誕生。

東北大学法学部卒業後、システムエンジニアとして働いたが文学賞に応募。

1996 『悪党たちが目にしみる』（後に『陽気なギャングが地球を回す』として出版）にて、サントリーミステリー大賞佳作受賞。

2000 『オーデュポンの祈り』にて、新潮ミステリー倶楽部賞受賞。

2002 『ラッシュライフ』が注目され始める。

2003 『重力ピエロ』が直木賞候補となる。

2004 『アヒルと鴨のコインロッカー』にて、吉川英治文学新人賞受賞。

『死神の精度』にて、日本推理作家協会賞受賞（短篇部門）。

『チルドレン』『グラスホッパー』が直木賞候補となる。

2005 『死神の精度』が直木賞候補となる。

2006 『砂漠』が直木賞候補となる。

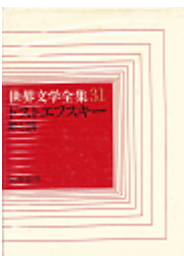
2008 『ゴールデンランバー』にて本屋大賞・山本周五郎賞を受賞。

□ 豆知識 □

作風が村上春樹氏に似ていると指摘を受けることが多いが、本人は「島田荘司氏に多大な影響を受けた」とインタビューで語っている。



～ 今月のおすすめBOOK ～



「世界文学全集 31 ドストエフスキー『罪と罰』」

(筑摩書房)

経済恐慌の時代、大学に通えなくなったラスコーリニコフは、大学を卒業して外国へ行くために、強欲な高利貸しの老婆の殺害を計画するが・・・。